

環境学委員会・地球惑星科学委員会合同FE・WCRP合同分科会  
(第25期・第3回) 議事要旨

- 1 日時 2022年12月26日(月) 16:00~18:00
- 2 方法 遠隔会議 (Zoom)
- 3 出席者 沖 大幹, 三枝 信子 (委員長), 春山 成子, 植松 光夫,  
江守 正多, 大政 謙次, 春日 文子, 佐藤 薫, 高薮 縁,  
谷口 真人, 張 勁 (幹事), 中島 映至, 中村 尚 (副委員長),  
原田 尚美, 氷見山 幸夫, 福士 謙介, 山形 与志樹,  
山形 俊男, 吉田 丈人, 渡辺 知保, 齊藤 宏明, 見延 庄士郎  
オブザーバー 杉山 慎, 速水 祐一, 金谷 有剛, 佐藤 永, 宮崎 雄三  
欠席者 東 久美子, 阿部 彩子, 大手 信人, 蟹江 憲史, 齋藤 文紀
- 4 議題等
  - (1) 前回議事要旨の確認
  - (2) 小委員会等からの活動報告
  - (3) 国内外の動向に関する情報交換
  - (4) その他
- 5 配布資料
  - 資料1 FE・WCRP合同分科会第25期第2回議事要旨
  - 資料2 FE・WCRP合同分科会委員名簿
  - 資料3 第25期日本学術会議地球惑星科学委員会組織図  
FE・WCRP合同分科会活動報告
  - 資料4 小委員会等からの活動報告
    - SPARC 小委員会
    - CliC 小委員会
    - CLIVAR 小委員会
    - GEWEX 小委員会
    - Future Earth Coasts 小委員会 (資料なし)
    - GLP 小委員会
    - IGAC 小委員会
    - iLEAPS 小委員会
    - IMBeR 小委員会
    - PAGES 小委員会

## SOLAS 小委員会

### 資料 5 国内外の動向に関する話題提供

WCRP の動向

Future Earth の動向

### 資料 6 日本学術会議の在り方についての方針(12月6日)

日本学術会議の在り方について (具体化検討案) (12月21日)

声明(12月21日)

## 6 議事内容

### (1) 前回議事録の確認

議事に先立ち、三枝委員長より、本日の FE・WCRP 合同分科会の議事次第が説明され、配布資料に基づき、第 25 期第 2 回 FE・WCRP 分科会議事要旨(【資料 1】)、Future Earth・WCRP 合同分科会委員名簿(【資料 2】)、第 25 期日本学術会議地球惑星科学委員会組織図(【資料 3-01】)、FE・WCRP 合同分科会活動報告(【資料 3-02】)の確認を行った。

### (2) 小委員会等からの活動報告

#### ■ WCRP に関わる小委員会

4つの小委員会《SPARC(佐藤委員・【資料 4-04】)、CLIC(杉山小委員会委員長・【資料 4-01】)、CLIVAR(見延委員・【資料 4-02】)、GEWEX(高薮委員・【資料 4-03】)》より、今年度の活動報告及び今後の活動予定等が説明された。金谷小委員会委員長(IGAC)よりオゾン研究連絡会の紹介があり、SPARCとの連携強化に関する意見交換がなされた。氷見山委員より、WCRPとFuture Earth間で最近締結された協力協定を高く評価しており、その後の推移について知りたいとの質問があり、三枝委員長や春日委員より情報提供があった。

#### ■ Future Earth に関わる小委員会

7つの小委員会《Future Earth Coasts(速水小委員会委員長)、GLP(氷見山委員・【資料 4-06】)、IGAC(金谷小委員会委員長・【資料 4-07】)、iLEAPS(佐藤(永)小委員会委員長・【資料 4-08】)、IMBeR(齊藤(宏)委員・【資料 4-09】)、SOLAS(宮崎小委員会委員長・【資料 4-11】)、PAGES(代理・三枝委員長・【資料 4-10】)》より、今年度の活動報告及び今後の活動予定等が説明された。

中島委員と氷見山委員より、Future Earthに関わる小委員会と「学術の大型研究計画に関するマスタープラン」との関連性について質問あった。それに対し三枝委員長、沖委員、春日委員より情報提供があり、今後の策定・改定時に小委員会の研究活動内容が適切に反映されるように、各自働きかけること等を共通

認識として確認した。

### (3) 国内外の動向に関する情報交換

見延委員より、【資料 5-1】に基づき、WCRP 関連の活動の報告と今後の活動予定等が説明され、意見交換がなされた。また WCRP OSC 2023 の紹介があり、参加の呼びかけがあった。

春日委員より、【資料 5-2】に基づき、Future Earth の新体制の概要や「Sustainability Research and Innovation 2022」の報告、日本ハブ主催の活動事例の報告があり、最後に今後の活動予定等が説明された。植松委員より、研究活動資金源について質問があった。春日委員より現状は十分ではない状況にあり、新たな研究活動資金源について準備を進めている状況が説明された。福士委員より Future Earth の関連研究の具体的な活動について情報提供があった。

### (4) その他

三枝委員長より、【資料 6-01】、【資料 6-02】、【資料 6-03】に基づき、「未来の学術振興構想」、「日本学術会議の在り方」のこれまでの経緯と現在の概要について説明がなされ、その後今後の方向性等について意見交換がなされた。